【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2001-144972(P2001-144972A)
【公開日】平成13年5月25日(2001.5.25)
【出願番号】特願平11-328193
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/46
　Ｇ０６Ｔ　1/00
　Ｇ０６Ｔ　7/00
　Ｈ０４Ｎ　1/387
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/46　　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｇ０６Ｆ　15/62　３８０
　Ｇ０６Ｆ　15/66　３１０
　Ｇ０６Ｆ　15/70　３１０

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月4日(2004.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
　撮像部１６の可変フィルタ１６ａおよびＣＣＤカメラ１６ｂは一体となって、光源部１４と同様に、中心位置Ｂを中心とした所望の方位方向の、中心位置Ｂより一定の距離離間した位置、すなわち、円弧Ｃ上の所望の方位方向（撮像部位置）に調整可能に配置され、中心位置Ｂを中心とする被写体撮影領域Ａに向けて配置される。すなわち、撮像部１６は、円弧Ｃ上の所望の撮像位置を、中心位置Ｂを通る被写体Ｏの垂線方向を基準とした撮像方位角φによって自由に調整することができるように構成される。また、光源１４および撮像部１６は、平面状の被写体Ｏの垂直平面内にある円弧Ｃ上に配置されるが、円弧Ｃは、必ずしも垂直平面内にある必要はなく、平面上の被写体Ｏと一定角度を保つ平面内にあってもよい。すなわち、略平面状の被写体Ｏの正面に正対せず、図１の例においては、紙面上方あるいは下方に光源１４および撮像部１６が配置されるものであってもよい。さらに、本実施例では、可変フィルタ１６ａおよびＣＣＤカメラ１６ｂは、光源部１４と同一の円弧Ｃ上に配置されるが、これに限られず、中心位置Ｂを中心とする一定の同心円の円弧上に配置されてもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
　このようなマルチスペクトル画像収録・処理装置および画像収録・処理方法において、以下のようなマルチスペクトル画像の収録および処理を行った。
　撮像部１６のＣＣＤカメラ１６ｂとして、エリアセンサを備えるＤＡＬＳＡ社製CA-D4-1024A（画素数１０２４×１０２４、ピクセルサイズ１２×１２ミクロン、ＰＣＩインタ

ーフェース付き、モノクロ）を用い、可変フィルタ１６ａとして、ＣＲＩ社製Varispec Tunable Filter （液晶チューナブルフィルタ）を用いた。この液晶チューナブルフィルタによって、４１０～７１０ｎｍの撮影波長帯域を、バンド帯域幅を２０ｎｍずつに分割し、１６バンドとした。標準白色板Ｒとして、カラーアナライザＣ２０００（日立計測株式会社製）に添付されている副白板丸タイプを用い、被写体ＯとしてGreen100ペーパー（富士ゼロックス社製）に、COLOR LASER SHOT LBP2030（キャノン社製）でプリントした人物画を用いた。